

氏 名	小 林 誠
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博乙第 4197 号
学位授与の日付	平成19年9月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	Expression of monocyte chemoattractant protein-1 in idiopathic dilated cardiomyopathy (拡張型心筋症におけるmonocyte chemoattractant protein-1の発現)
論文審査委員	教授 成瀬 恵治 教授 佐野 俊二 准教授 近藤 英作

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

免疫学的要因が拡張型心筋症の病因の一つとして考えられている。特に単核球の細胞傷害作用は心筋障害を引き起こす重要な要素である。

Monocyte chemoattractant protein-1 (MCP-1) は単球・マクロファージを局所に集める主要なサイトカインである。我々は拡張型心筋症の心筋において MCP-1 が発現しているか、さらにその発現レベルは心機能の低下と関連があるかどうかを検討した。免疫組織学的検討をしたところ、拡張型心筋症患者(13人)の全ての心筋組織において MCP-1 が発現していた。正常心機能者の心筋においては発現が認められなかった。その発現は心筋細胞と間質の浸潤細胞において認められた。半定量したところ MCP-1 の発現強度は左室区出率と逆相関した。

以上より MCP-1 が拡張型心筋症患者の心筋において発現しており、その発現レベルは心機能低下の程度と関連していることがわかった。

論 文 審 査 結 果 の 要 旨

免疫学的要因が拡張型心筋症の病因の一つとして考えられている。特に単核球の細胞傷害作用は心筋障害を引き起こす重要な要素である。Monocyte chemoattractant protein-1 (MCP-1) は単球・マクロファージを局所に集める主要なサイトカインである。我々は拡張型心筋症の心筋において MCP-1 が発現しているか、さらにその発現レベルは心機能の低下と関連があるかどうかを検討した。免疫組織学的検討をしたところ、拡張型心筋症患者(13人)の全ての心筋組織において MCP-1 が発現していた。正常心機能者の心筋においては発現が認められなかった。その発現は心筋細胞と間質の浸潤細胞において認められた。半定量したところ MCP-1 の発現強度は左室区出率と逆相関した。

以上より MCP-1 が拡張型心筋症患者の心筋において発現しており、その発現レベルは心機能低下の程度と関連していることを示した価値ある業績である。

よって、本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。